

スポーツ観光 実践セミナー

九州オルレのインバウンドによる 観光振興・地域振興の事例

天草ヘルスツーリズムの宿泊施設経営改善と 地域活性化の事例

～トレッキングとウォーキングによる成功事例から学ぶ～

2020年の東京オリンピック開催が決まり、国民のスポーツに対する意識はおのずと高まってくると思われます。政府も2010年には「新成長戦略」を閣議決定し、その中の「日本の強みを活かす成長分野」の7つの柱の中に医療を含む健康や観光が含まれています。健康やスポーツに関するツーリズムは今まで以上に重要視されるでしょう。

ただ、地方にとっては、オリンピックやスポーツの国際大会、スポーツイベントを招致することはたやすいことではなく、持続可能かどうかという視点では難しいと思われま

す。そこで今回は、現実的に交流人口を増やすために地域として何ができるかを具体的な成功事例から北近畿に適合したビジネスモデルを構築するための実践的セミナーを開催いたします。質疑応答に時間を多くとらせていただきますので、皆様の御来場をお待ちしております。

事例1

2012年から九州でスタートした「九州オルレ」という韓国・済州島発祥のトレッキングコースです。現在、8つのコースが実施され、年初に2コース、来年にはさらにコースが追加されますが、多いコースでは韓国人のグループだけで3000人近くが歩くことを目的にきています。韓国人の個人客や日本人を含めるとその倍の観光客がコースを目指して来ているといわれます。2015年就航予定の浦項からのフェリーやクルーズ船寄港を視野にいれて、インバウンドの誘客を考えてみることは有意義だと思います。

平成26年

1月24日 金

13:00～16:00

開催場所／成美大学4号館

福知山市字堀 3370

募集人員／50名

(自治体関係者、観光関連業者、宿泊関係者、運輸関連業者等)

参加費用
無料

裏面の申込書にて
1月20日(月)までに
お申し込み下さい。

○主催：成美大学ニューツーリズム研究所
次世代ヘルスツーリズム研究室

なお、このセミナーは、文部科学省大学間連携共同教育推進事業の「大学地域協働の関係づくり」のプログラムとして開催いたします。

事例2

天草の小さな旅館が、宿泊客を毎日ウォーキングで地域や商店街を案内することで宿泊客数を大幅に伸ばし、リピート率も挙げた事例を紹介します。ハードへの投資ではなく人に投資することで経営改善を行うだけではなく、地域の活性化にも役立っている取り組みから北近畿における可能性を考えてみたいと思います。国際観光旅館連盟作成の旅館の損益計算書等との比較も行い、このプログラムの有効性を確認します。

プログラム

1 主催者あいさつ

2 「九州オルレ」による韓国人誘客の成功事例と観光振興

講師：九州観光推進機構 海外誘致推進部 河野哲郎部長

3 天草における小旅館のヘルスツーリズムによる旅館経営改善と地域活性化の事例

講師：成美大学 辻本千春准教授（次世代ヘルスツーリズム研究室）

4 質疑応答

5 終了 16:00 予定

オルレ

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味でした。そのうち自然豊かな済州島で、トレッキングする人が増え、オルレはトレッキングコースとして命名され、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。オルレの魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分なりにゆっくりとコースを楽しむところにあります。

九州オルレは、済州オルレの姉妹版。済州島と同じように四季の美しい風景があり、トレッキングに適した山岳がある九州を自分の目と足で再発見してもらいたい。そのような思いで、九州オルレのコースを整備しました。

「九州オルレ案内パンフレット」
九州観光推進機構より引用

天草ヘルスツーリズム

天草地域は、天草五橋が開通してから急速に観光地として発展した地域の一つです。しかし、観光客の形態や嗜好の変化に対応できずに観光施設の閉鎖や旅館の廃業などで宿泊客を増やすことが難しい状況が続いています。天草の旅館の女将が「観光と健康」の融合の重要性に気付き、2009年秋から宿泊客をウォーキングに連れ出すことを始めました。近くの公園や地元の観光資源もありますが、少し離れた隠れた地域資源へ案内することで旅館の経営を改善しています。その動きが地元の商工会議所や天草市、熊本県を巻き込んだムーブメントになりつつあります。また、2011年の日本ヘルスツーリズム推進機構主催の第4回ヘルスツーリズム大賞の奨励賞を受賞したり、数々のマスコミにも取り上げられ新しい形の地域振興としても注目されています。

スポーツ観光実践セミナー

〈申込書〉 ●申込締切日……平成26年1月20日（月）
●申込先……成美大学 ニューツーリズム研究所まで
FAX又はメールにてお申し込み下さい。

所 属 先		
住 所	〒	
電 話	FAX.	
ご参加者氏名1	役職・姓名	
	e-mail	
ご参加者氏名2	役職・姓名	
	e-mail	
ご参加者氏名3	役職・姓名	
	e-mail	

主催・問い合わせ先



成美大学
ニューツーリズム研究所

〒620-0886
京都府福知山市字堀3370（西小谷ヶ丘）
TEL.0773-24-7100 FAX.0773-24-7170
<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp>
E-mail : nt@uv.seibi-gakuen.ac.jp